



豊作願い「赤米」植える



CONTENTS -おもな内容-

養父市誕生1周年 市民のつどい	2~3
明石市との交流協定がまとまる、 シリーズ・養父市の行政改革推進情報	4~5
八鹿病院からのお知らせ、 コウノトリ但馬空港をご利用ください	6~7
まちの話題	8~9
連載コーナー	10~11
公民館情報	12~13
お知らせ	14~17
戸籍の窓、わがやのアイドル、 くらしのカレンダー	18~19
ふれあいネット番組表	20

奈良時代、朝廷に年貢として赤米を奉納していたことを記す木簡が見つかったことを機に、小佐地区では赤米づくりに取り組み始めました。

小佐小学校(全校児童32人)では5月27日、学校近くの田んぼ5アールに赤米の苗を植えました。(写真大)

当日は快晴の下、古代衣装・貫頭衣を身につけ田んぼに入り、豊作を願いながら心を込めて苗を植えました。

同29日には、赤米お田植まつり(中村区主催)が中村区内の赤米田で行われ、以前から交流のあった尼崎エコクラブなど都市部からも多くの方が参加し、田植えを通して交流を深めました。(写真右下)